

TK - 9611 使用説明書

(8回路リレーボード)

リレーコイルのプラス側を共通化することで配線を簡略化した8回路のリレーボードです。

特長

- ・1A(定格)のリレー(2c)を8回路搭載しています。
- ・ガラスエポキシ基板を使用しておりますので、高信頼性です。
- ・小型設計(90mm×60mm)です。
- ・当社DTMF製品(TK - 70S etc.)に直接接続できます。

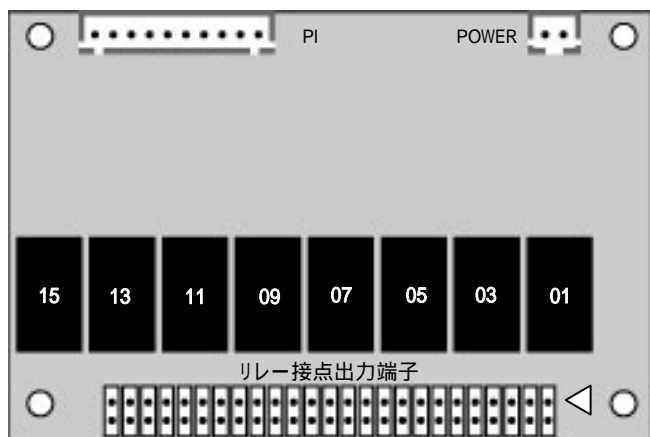
仕様

- ・電源電圧……………DC9～DC15V
- ・消費電流……………240mA(最大)
- ・出力容量……………AC30V 0.5A(抵抗負荷)、またはDC30V以下 1A(抵抗負荷) 0.2A(誘導負荷)
- ・寸法……………90×60(mm)

付属品

- ・基板用スペーサ…4
- ・片端2Pコネクタ付き電源コード…1
- ・両端10Pコネクタ付きケーブルセット…1
- ・リレー接点出力コネクタハウジング(1.27ピッチフラットケーブル対応)…1

基板概観図




【図1】

コネクタについて

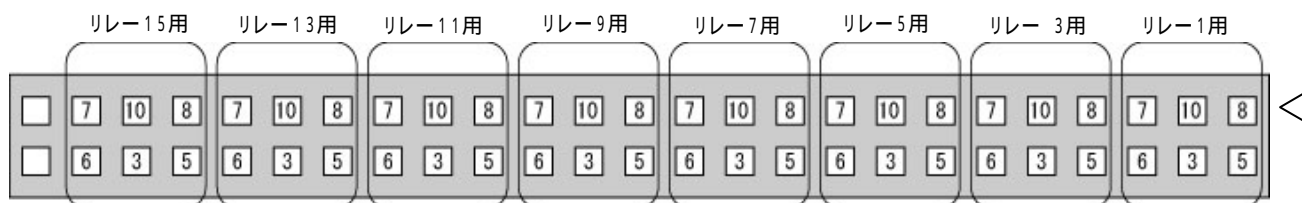
【表1】電源入力

POWER	ピン番号	信号名
	1	電源入力 D9V ~ DC15V
	2	GND

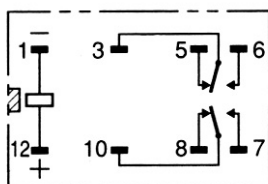
【表2】リレードライブ入力

PI	用途
	DTFMデコーダー(TK - 70S)の10Pコネクタと接続

【図2】リレー接点出力



各リレーの内部接続図



配線について

本ユニットでは、[図1]のように電源入力、リレードライブ入力、リレー接点出力を別々のコネクタに分けています。以下に、コネクタごとの配線方法について説明します。

電源入力の配線

付属のコネクタ付き電源コードを、本ユニットの電源入力コネクタに差し込み、赤色のリード線を電源のプラス側に、黒色のリード線を電源のマイナス側に接続します。

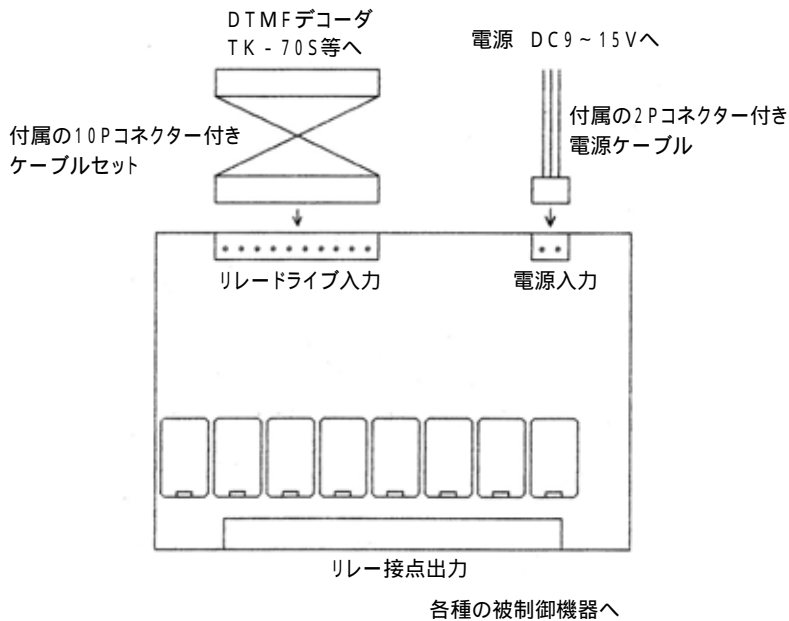
リレードライブ入力の配線

付属の10Pコネクタ付きケーブルセットをDTMFデコーダ(TK-70S)の出力コネクタと接続します。

リレー接点出力の配線

[図2]に各リレーに対応する接点を示します。

結線実例



PATOK

松本無線パーツ株式会社岩国

740-0018 山口県岩国市麻里布町4-14-24
TEL 0827-24-0081 (代) FAX 0827-24-1444